

みて！みて！きて！ ミニ情報



なぜ分別？

先日、あるイベントで昼食にお弁当を用意されました。食後、空になったパックや割りばし、紙コップ、ラップ等を分けておこうと言う事になりました、そこで、「アルミホイルは広げて出せば燃えるごみでいいんだよね」と、さらに驚いたのははっきりと「違う」と否定する人がいなかったことです。何となく「違うんじゃないかなあ」と言う人が何人かいましたが、あとの人は答えませんでした。このミニ情報を手に取った皆さんには笑い話ですよ。『アルミホイルは丸めて出しても広げて出しても燃やせないごみ』に分別です。

この様な話は決して珍しい事ではありません。まだまだ『ごみの分別』ということに無関心と言う人が多いように思います。それはなぜでしょうか？

ごみの減量を進める理由の一つとして「CO²の排出量削減の問題もあります。私たちの住む上田市にはもっと切実な問題があることを、もっと多くの人に知ってもらう必要があります。上田クリーンセンターの焼却炉は昭和61年4月に稼働、現在で30年になります。耐用年数をはるかに上回り、昨年の施設の補修費は1億7千万円。多額の費用をかけて何とか稼働させている状態です。なお、新焼却施設の建設地が決定されていない今、市民一人ひとりの努力が問われています。

現在の炉への負担を出来るだけ軽減し延命の為に、ごみになる余計な物は買わない！出たごみはしっかり分別をして、資源として使える物はリサイクルをして、どうしても燃やさなければならぬ物だけ焼却処分をするという意識を持って欲しいと思います。
皆さん！！ごみの分別、ごみ減量にご協力を。



☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日も、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

★環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

9月2日（金）午前10時から正午

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

平成28年9月号

1	木	
2	金	古着回収日 10時～12時
3	土	休館日
4	日	休館日
5	月	布ぞうり作り 10時～12時①
6	火	
7	水	
8	木	着物地から帽子作り①
9	金	
10	土	休館日
11	日	休館日
12	月	布ぞうり作り 10時～12時②
13	火	
14	水	
15	木	着物地から帽子作り②
16	金	
17	土	休館日
18	日	休館日
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	休館日
25	日	休館日
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

ごみさん！ありがとう、そして又よろしく

『ごみを捨てる』という行為は、「私の為に役立ってくれてありがとう、そして再び姿を変えて次のお役に立ってください本当にご苦労様です。」という気持ちでごみ袋に入れなければならない、そんな気持ちになってきました。

ごみは汚い、臭い、から早く蓋をして視界からなくそう「臭いものにはふた」「所詮ごみはごみ」「もう、用済みだ」「ごみ捨て場」「ごみため」と言った時代から、今や「臭いニオイは元から絶たなきゃダメ」とばかりに、汚くなる前に汚れを落として、臭いの原因を少なくし、再生への道として分類し、再び世の役に立つ物として登場する。こんなげに役立つ物に対して何て無神経であったのかと反省しています。

資源ごみと言いますが、資源とごみを一緒にしては申し訳ないです。問題は資源にならないごみの方です。燃やせるごみの中で半分は「生ごみ」です。この生ごみを減らす事が一番の使命です。出来るだけ自家処理（ぱっくん・コンポスター・処理機）等で燃やせるごみにしない事、それもできない人は、しっかり水切りをするなど、一人ひとりが、意識をすれば「ちりも積もれば山となる？」市民全員で、生ごみを燃やさず活かすことを考えてください。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。



わくわく講座

申し込みは、9月1日(水)以降、電話でエコ・ハウスへ(受付は電話のみ)。

★ 着物地から帽子作り (定員 8 名)

日 時	9月8日(木)、15日(木) 午前10時～午後3時 (2回コース)
持ち物	着物(ほどいて)、裏布用、裁縫道具、型紙用紙、昼食
諸経費	一回100円
材料費	200円

★ 布ぞうり作り (定員 10 名)

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。

使い古したもめんのシーツ、ゆかた、洋服を裂いて、わらじのように編んで作ります。

日 時	9月5日(月)、12日(月) 午前10時～午後3時 (2回コース)
持ち物	はさみ、ものさし(30cm位)、昼食
材料費	130円 材料は各自、手持ちの布を持参してください。

(ゆかた、シーツ、布団カバー等ほどいて、布を5～6cm幅に裂いて持ってきてください。)

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 TEL23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>